

平岩採介藻グループ 【宮崎県】



宮崎県藻場干潟等保全地域協議会

荒武 久道

1. 地域や漁業の概要

(1) 地域の概要



第51回日向市総合文化祭体育部門
第1回日向サーフクラシック
HYUGA SURF CLASSIC
主催 日向市 日向市教育委員会 日向市体育協会
主管 日向市サーフィン連盟

12/13
SUN

Ride by Kingood Kai
@Mimigawa

主催 日向市 日向市教育委員会 日向市体育協会
主管 日向市サーフィン連盟
日程 12月13日(日) 場所 小倉ヶ浜
クラス ショートボード・スペシャル・オープン・ビキナー・レディス
ロングボードオープン
エントリー料 - ¥4000 (一般) ¥3500 (中学生以下)
エントリー締切 - 11月30日 (80名で締め切らせて頂きます)
お問い合わせ - 日向市サーフィン連盟 (TEL/FAX 0982-56-2609)
及び日向市内サーフショップ、サーフショップ連盟までお問い合わせください。

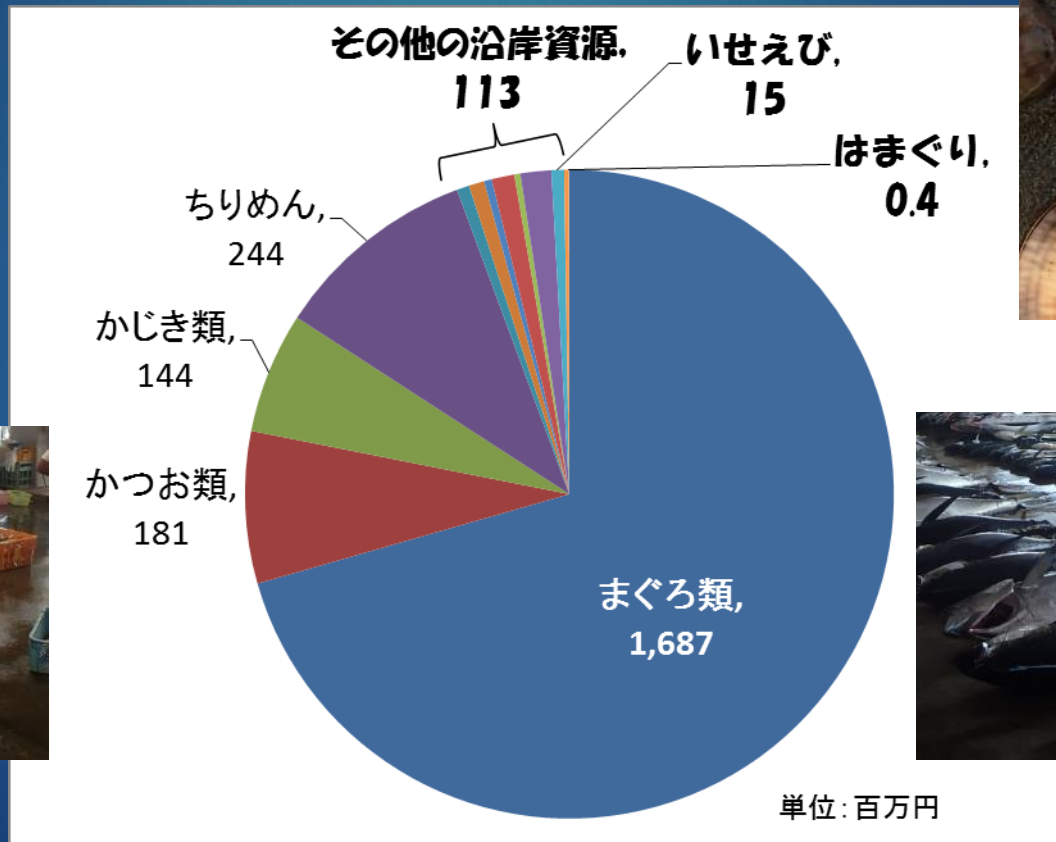


宮崎県北部 (北緯32°25")
降雨量、日照時間ともトップクラス

1. 地域や漁業の概要

(2) 地域の漁業の概要

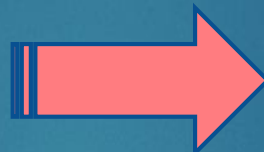
◆主力は、まぐろ、かつお



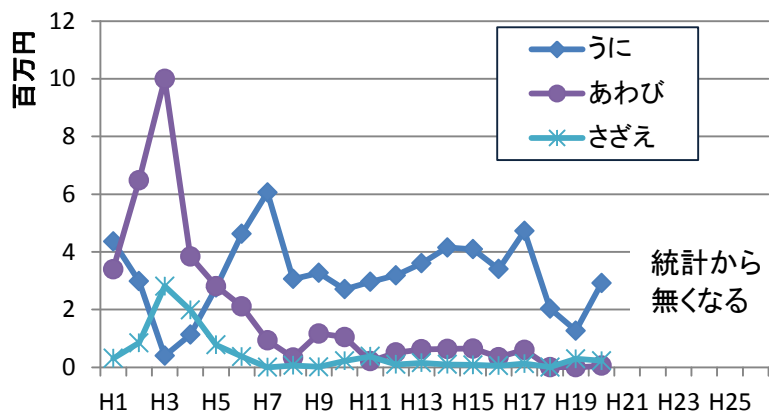
2. 地域（資源）の現状・課題

(1) 地域（資源）の現状・課題

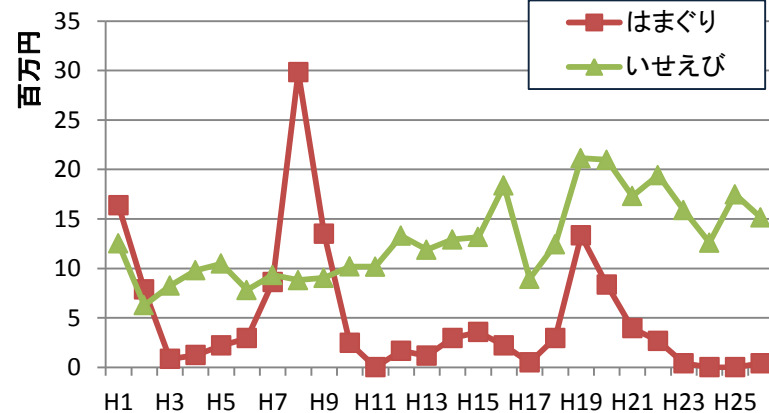
◆ 藻場の衰退、沿岸（磯根資源）漁業の低調



生産額



生産額



2. 地域（資源）の現状・課題

(2)活動組織設立に至る経緯

◎藻場の衰退、磯根漁業の低調・・・

- ◆昭和61年頃～ イセエビ調査、漁場整備協力
- ◆平成 8年 ～ 藻場造成活動（漁協平岩支部）
- ◆平成22年 ～ 平岩採介藻グループ結成
（環境・生態系保全活動支援事業）
- ◆平成25年 ～ 活動継続
（水産多面的機能発揮対策事業）

3. 活動組織の概要

(1) 発足年月日

◆平成22年平岩採介藻グループとして再スタート

(2) 構成員

◆合計 9名

(内訳)

◇漁業者 7名

◇漁協職員 1名

◇日向市職員 1名

うち採貝藻6名

全ての漁業者が、刺網、いせえび磯建網等を兼業

3. 活動組織の概要

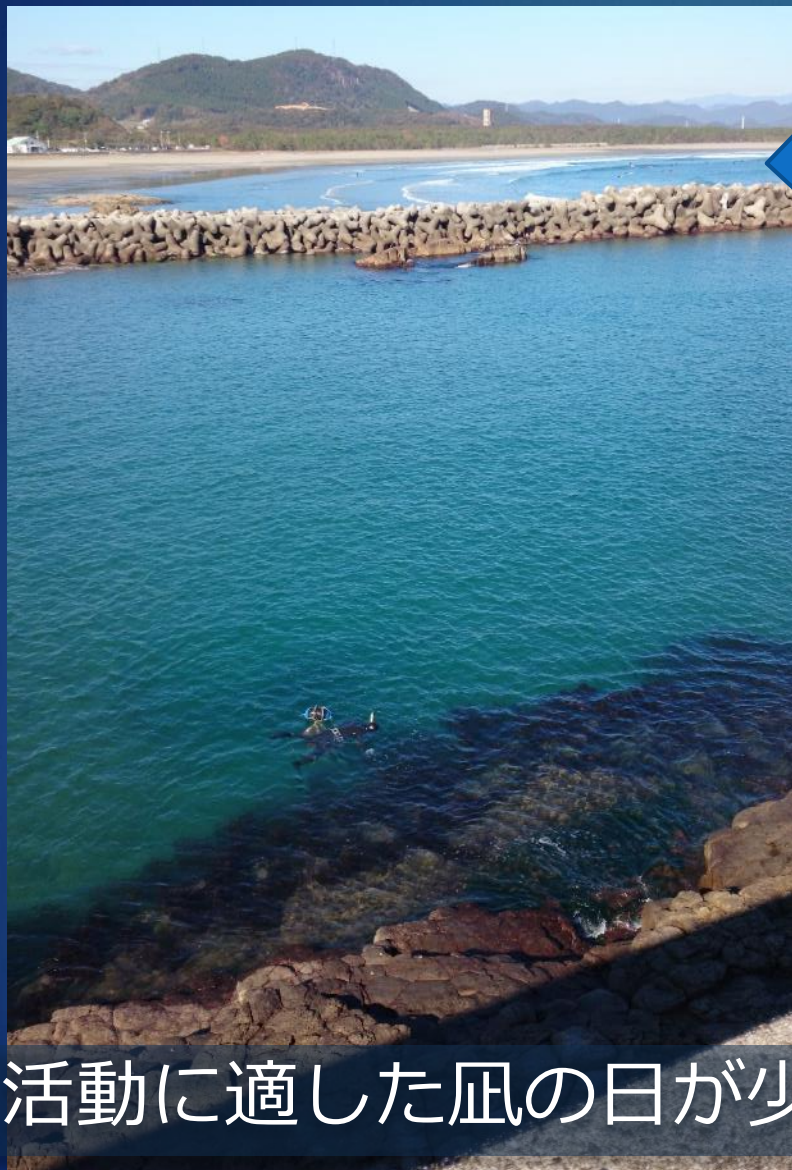
(3)活動位置図・活動面積等

◆宮崎県日向市平岩地先

◆活動面積 9.4ha (H27)



活動場所はこんなところです . . .



港のすぐ横にはたくさんのサーファーが



港外には、太平洋の波がまともに打ち寄せる



活動に適した風の日が少なく、苦勞も多いのです

4. 活動の目標と計画

(1) 目標

将来的な目標

★S51年規模のクロメ藻場の回復



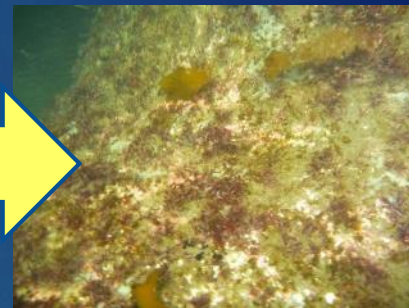
回復制限要因
ウニ
魚

S51年当時の
クロメ藻場

当面の目標

★ウニ除去による小型海藻藻場の造成
=ウニの生産性の向上

☆魚類除去による大型海藻藻場の造成
=あわよくば、港外へのクロメ拡大



4. 活動の目標と計画

(2)年次計画



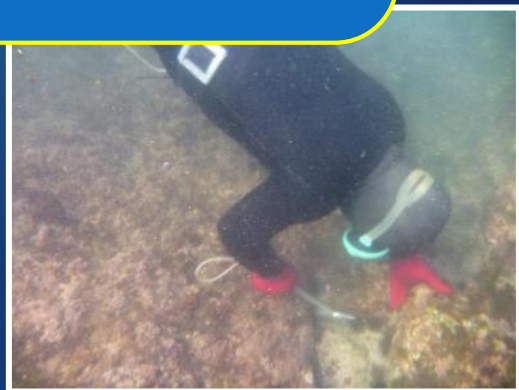
監視継続と、
必要に応じた
ウニ類除去



刺網による
魚類除去

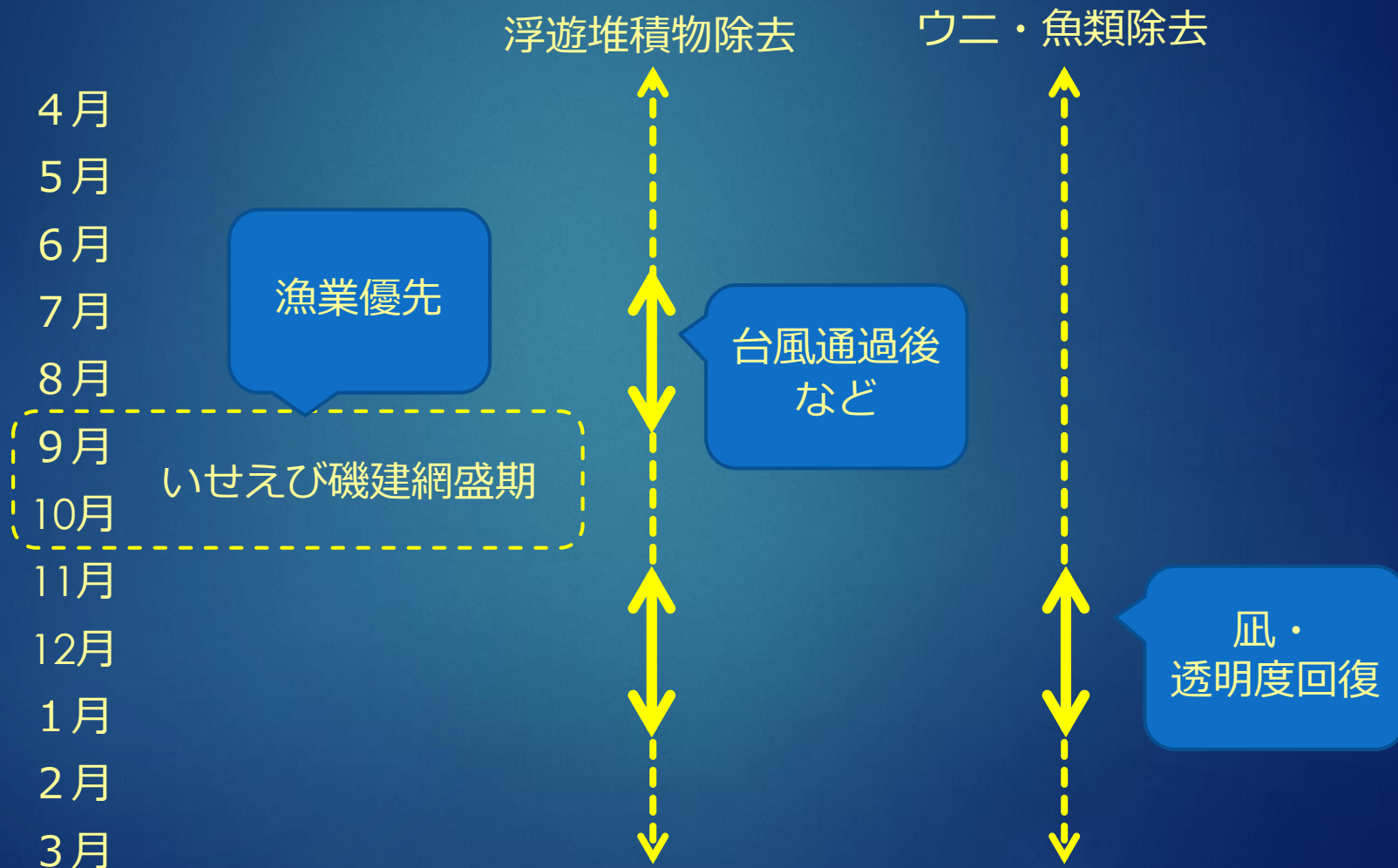
ウニ類除去は、で
きる規模から始め、
順次拡大
北側は砂地なので、
南方向へ

流木等浮遊・
堆積物の除去



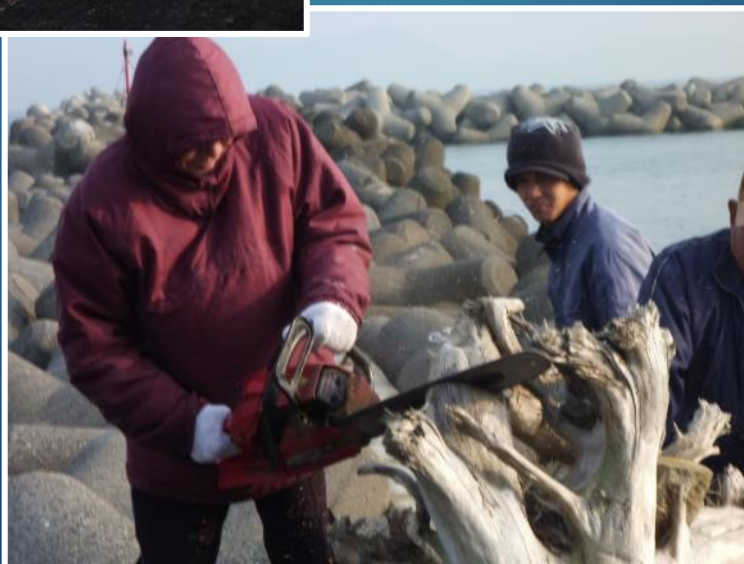
4. 活動の目標と計画

(3)年間スケジュール表



5. 発揮活動の実施状況及び成果

(1) 浮遊・堆積物除去

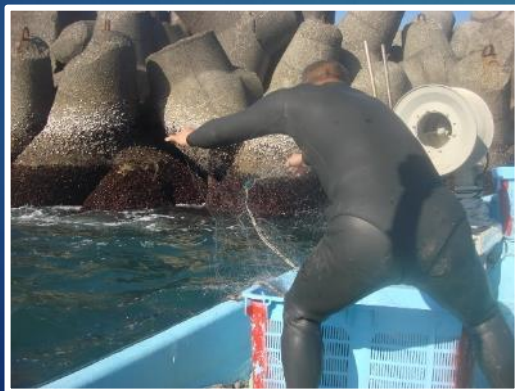


	浮遊・堆積物 除去	
	延べ人	日
H22	52	14
H23	41	6
H24	23	15
H25	25	3
H26	16	2

5. 発揮活動の実施状況及び成果

(2) 植食性魚類除去

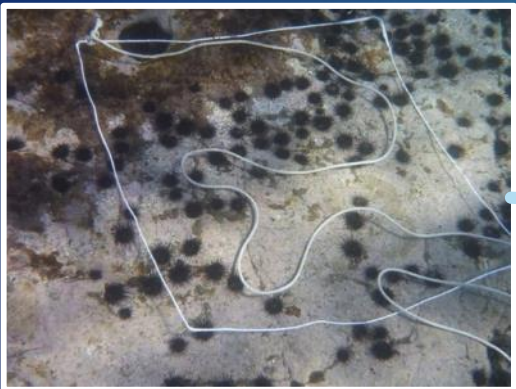
	植食性除去					
	延べ人	実施回数	採捕回数	採捕尾数	採捕重量 (kg)	備考
H22	—	—				
H23	—	—				
H24	—	—				
H25	41	4	3	3	6.3	ノトイスズミ
H26	97	11	4	8	8.9	ノトイスズミ ブダイ



5. 発揮活動の実施状況及び成果

(3)ウニ類除去 (開始時：H23.1)

年度	ウニ類除去		
	延人	日	ha
H22	92	10	2.25
H23	83	10	2.25
H24	106	14	4.2
H25	80	13	7.5
H26	97	14	9.4



(ウニの密度：個/m²)

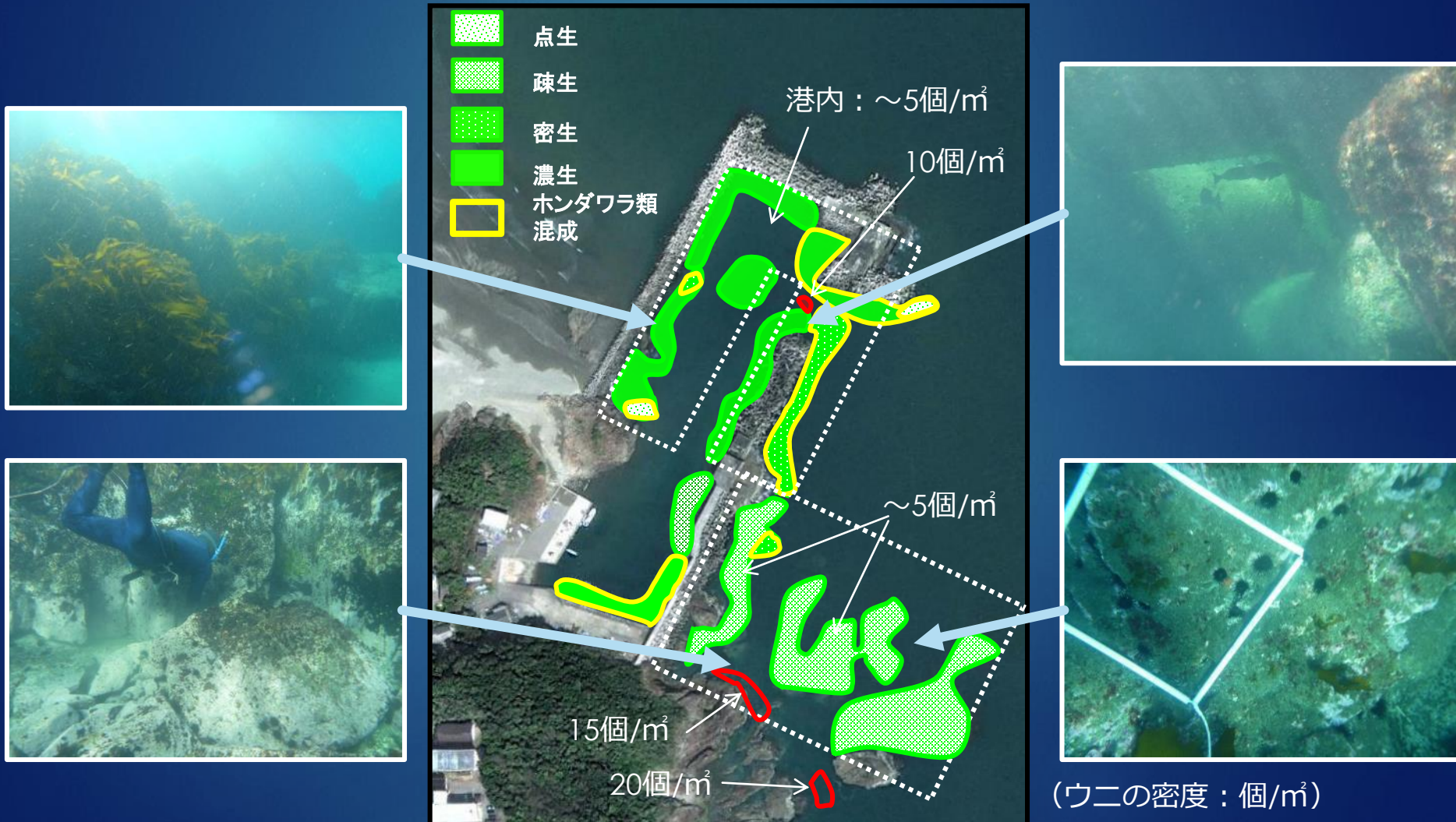
5. 発揮活動の実施状況及び成果

(3) ウニ類除去 (経過: H24.3)



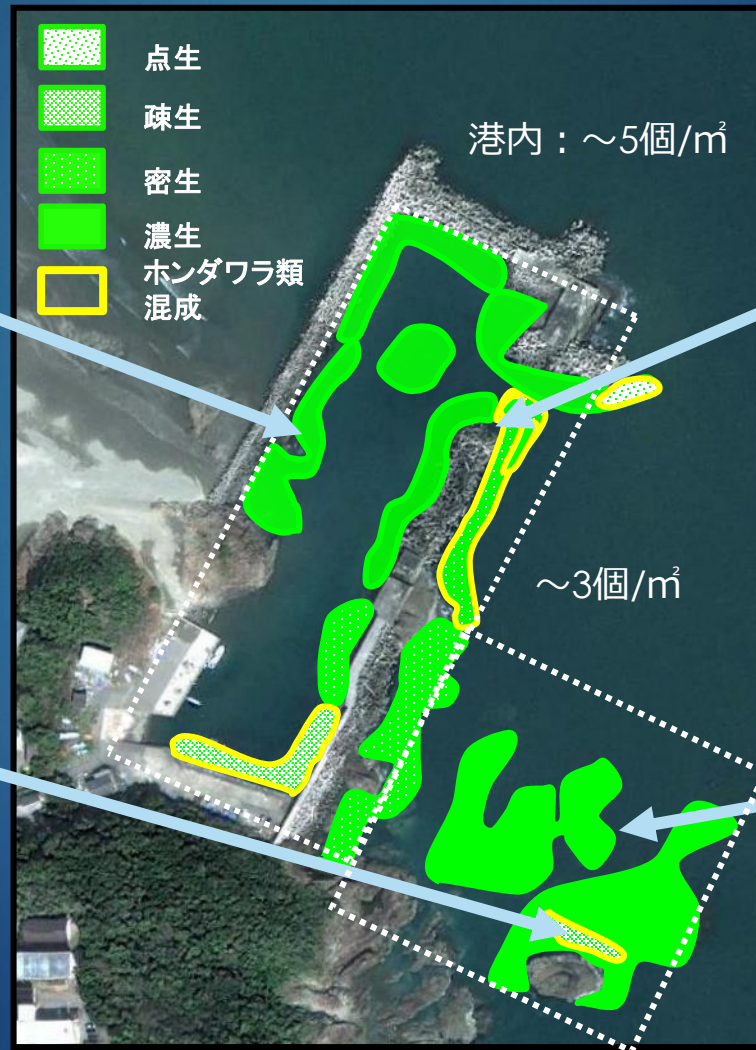
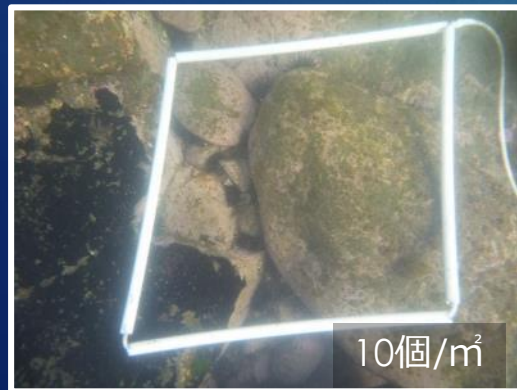
5. 発揮活動の実施状況及び成果

(3) ウニ類除去 (経過: H25.3)



5. 発揮活動の実施状況及び成果

(3) ウニ類除去 (経過: H26.3)



(ウニの密度: 個/ m^2)

5. 発揮活動の実施状況及び成果

(3)ウニ類除去 (経過 : H27.3)

開始時 (H23) 0.4ha → 2.3ha



5. 発揮活動の実施状況及び成果

(4)まとめ～特に藻場関連について

◎ 港外への藻場の拡大（面積は約6倍に）

→ 適正密度に保たれたウニ類の身入り増

→ アワビの生育が見られるようになった

★ しかし・・・

もうひとつの主要な制限要因である、イスズミ等の魚類は減っていない。

今みられている藻場の拡大は、ここ数年の冬春の低水温のおかげかもしれない

6. 今後の課題・計画

(1) 今後の課題

- 保全活動の進捗、成果の発現とも極めて順調
- ただ・・・グループの高齢化は深刻
- ★ 若手の参入者を求む

(2) 今後の計画と抱負

外部協力者の取り込みを検討

磯根資源の回復、磯根漁業の復興

→ 若手（新規就業者）の参入